

科名 血液内科

血内-219(2)

対象疾患名 CD20陽性のCLL/SLL

プロトコール名 ガザイバ+カルケンス療法 3-7サイクル目

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1 ... 8 ... 15 ... 28
1	点滴	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓
2	点滴	側管	ガザイバ	1000mg	25mL/h→50mL/h→75mL/h →100mL/h(30分ごと) 全量250mLにする	↓
			生理食塩液	250mL		
3	内服		カルケンス	100mg	1日2回	28日間内服

★1クール=28日

～MEMO～

催吐リスク 最小

ガザイバは最大6コース(1サイクル目はカルケンスのみ投与)。

カルケンス投与後、少なくとも1時間以上あけてガザイバ投与。

<infusion reaction(IR)対策>

・3回目以降の投与時は、①前回の投与でIRの発現がない場合は、カロナール1000mgのみ。②前回の投与でGrade1又は2のIRの発現がある場合は、カロナール1000mg、ポララミン2mg。③前回の投与でGrade3のIRの発現、又は次回投与前のリンパ球数が $25 \times 10^9/L$ を超える場合は、デキサメタゾン20mg(ガザイバ投与1時間前までに投与完了)、カロナール1000mg、ポララミン2mg。

・前回の投与でIRが発現せず、最終的な投与速度が25mL/hr以上の場合は25mL/hrで投与を開始し、30分毎に25mL/hrずつ最大100mL/hrまで上げることができる。

なお、前回の投与でIRが発現した場合は、12.5mL/hrで投与を開始し、30分毎に12.5mL/hrずつ、最大100mL/hrまで上げることができる。

<カルケンス>

PDまで